

# 認定看護師ニュースレター第77報

感染管理認定看護師の奥田聖子です。

7月に京都で開催された第39回日本環境感染学会に参加してきました！

現地での参加は久しぶりでしたが、コロナ前は9000人くらい参加される大きな学会でしたが、今回は2/3くらいだったようで現地参加者数はまだコロナ前には戻っていません。

学会では今年の秋ごろに改定が予定されているワクチンガイドラインについて報告がありました。

流行性 4 疾患の抗体価測定は罹患歴がある等の理由でワクチン未接種の方が対象であり、2回接種がすすんでいる方が抗体価上昇を確認する目的で抗体価測定をする必要はないこと、抗体価が上がる迄ワクチン接種を繰り返す必要はないことなどが明記される予定とのことでした。

COVID-19 でよく聞くエアロゾルは雲のようになかなか消えない、換気をしないと数時間もその部屋に留まったままなど、換気的重要性を再認識する機会にもなりました。



またこの施設でも感染管理認定看護師だけでなく、認定薬剤師や認定検査技師など次世代の人材育成が問題になっており、どのように育成していくのかについて課題や取り組みなどが発表されていました。

当院でも例外ではなく、2人目の感染管理認定看護師を募集しております。まずは法人内認定感染管理ナースの研修に参加していただき、どのような勉強や活動をするものか知っていただければと思います。

企業ブースでは、いろんな企業の感染対策用品が展示されており、携帯用針廃棄ボックスや針、手指消毒や皮膚保護用のクリーム、手術用の手袋も全品ピンホールチェックしている商品など説明を受けたりしました。ベッドパンウォッシャーや使い捨てパルプ容器粉碎装置なども新商品チェックを行い情報を得ることができました。

今回の学びを、今後の感染対策に役立てていきます！

